

なぜメンズメイクに違和感を感じられやすいのか

3年3組4番 石橋七星

Keyword: 「メンズメイク」「イメージ」「固定概念」「ナチュラルメイク」「ジェンダー」

1.はじめに

私は「メイクに対する社会的な意識」が性別によって異なっている現状に疑問を持ったため本テーマを設定した。ある日、祖母がSNS上で男性がメイクをしている動画を見た際に否定的な意見が見られた。私がメイクをしている事には何の違和感も示さない一方で、動画の中の男性には否定的な感情を抱いていたことに対し疑問を感じた。また、韓国人男性のK-POPアイドルがメイクやスキンケアを積極的に行う姿がよく見られる一方で、日本ではそのような光景があまり一般的ではないことに疑問を持った。

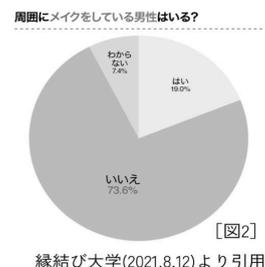
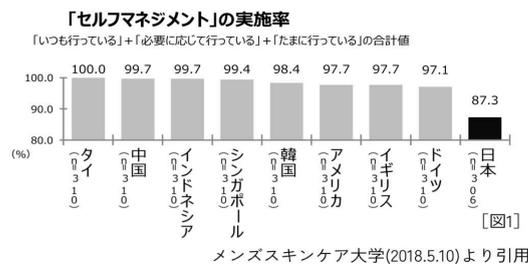
2. 序論

日本で多くの人が今も男性のメイクに違和感を感じる理由を明らかにするために、両国の美容への意識や文化的背景の違いを明らかにすることを目的とする。

近年、SNS上では、男性がメイクを行う様子の動画が頻繁に配信され、多くの人目に触れている。メイクはこれまで主に女性が行うものとされてきたが、ジェンダーの多様性が尊重される中、男性のメイクも次第に増えている。私自身も以前からメイクに対する関心があり、性別に関わらず誰もが自由にメイクを楽しむことは自然なことだと考えてきた。しかし、SNSや日常生活の中で、男性のメイクに対して否定的な意見や違和感を持つ人がいることに気づき、その理由に興味を持った。

日本におけるメンズメイクの普及率は欧米や韓国に比べてまだ低く、「セルフマネジメント」の実施率も87%と他国の97%~100%に比べて低い[図1]。加えて、周囲にメイクをしている男性は20%にとどまる[図2]。そして、男性のメイクに対して違和感を覚え、否定的な意見を持つ人も少なくない。女性がメイクをすることに対しては何の違和感を持たれないにもかかわらず、男性のメイクには「不自然さ」や「抵抗感」を覚える人がいるのはなぜか。

こうした性別によるメイクに対する社会的な意識が性別によるジェンダー観や社会的な固定概念があるのかを調べるために、「年齢・職業(・性別)」にアンケートを実施した。初めに、メンズメイクのイメージについてのアンケートを実施した。回答者の多くはアイドルや芸能人の名前を挙げており、メンズメイクのイメージが濃いメイクであることが示された。また、メイクをしない理由についてアンケートを実施したところ、「必要性を感じない」、「手間がかかりそう」という理由が多く挙げられた。これらの結果からメイクには「濃い」というイメージが強く定着しているため、ナチュラルメイクの理解や普及が必要であると考えた。



3. 本論

アンケートの結果から、入試や就職活動における印象向上を目的としたナチュラルメイクを、高校生や大学生の若年層を対象に実施した。まず、就活中の大学生に対してメイクを行い、就職活動や証明写真撮影時に使用してもらったところ、印象の向上が認められた。さらに、学校の男子生徒2名にも同様のナチュラルメイクを実施した。主に、眉毛の形を整えるアイブロウと顔の陰影を強調し、立体感を与えるシェーディング、及びくすみ消しを行った。

結果として、メイクによる印象改善は一定の効果が認められ、特にナチュラルメイクであればメイク後の男性の顔に対して違和感を感じないことがわかった。一方でメイクに対する興味や関心の変化には個人差が見られた。元々興味を持っていた生徒は継続的に関心を示した一方で、興味なかった生徒はメイク実施後も関心の変化が限定的であった。これらの結果から、対象となった年齢層や個人の背景によってメイクに対する意識に違いがあることがわかった。また、他国と比べた際に日本の普及率が低いことも確認された。これらの互いがどのような背景によるものかについては、今後さらに検討が必要である。

4. 結論

この探究を通じて、メンズメイクに対する意識は性別や年齢、個人の価値観によって多様であることが改めて確認された。社会にはメンズメイクに対する固定概念や抵抗感が残ってはいるが、自己表現や印象向上の手段としてのメイクに対する肯定的な意識も存在する。こうした意識の違いは、社会的背景や文化的要因と密接に関連していると考えられる。今後は多様な価値観を尊重し、ジェンダーや年齢にとらわれず自由にメイクを楽しめる環境づくりが求められる。

5. おわりに

本活動を通して、私は高校生の中にはあまり興味を持っていない人も多いことを改めて感じた。元々興味の有無には個人差があると分かっていたが、実際に活動を進める中で、その多様さをより具体的に感じることができた。この経験を通じて、誰かの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、興味の有無に関わらずお互いを尊重できる雰囲気を作ることの大切さを実感した。今後は、自分自身も周りの人の気持ちに寄り添いながら、興味を持つきっかけづくりに関わっていったらと考える。

6. 参考文献・出典

・「メンズメイク、女性はどう思う？ 周囲のメイク男子やオンラインメイクの実態に迫る」
縁結び大学 https://next-level.biz/enmusubi/mens_makeup/ [閲覧日:2025.10.1]

・「世界9か国を対象に調査！ 肌マネジメントを意識する“美ジネスマン”って？」
メンズスキンケア大学 <https://mens-skincare-univ.com/article/046426> [閲覧日:2025.10.1]